輝け　未来へ　中番校

No one will be left behind

２学期、一人一人が輝く為に、子供達には「本気」を求めます。
－Change（変革）,Challenge（挑戦）,Continue（継続）－

８月 31 日、今日で８月も終わります。私が子供の頃は、７月 21 日から８月 31 日まで夏休みでした。今は実施されていませんが、町水泳も夏休み中実施されていました。本当に最後の最後まで過ぎていく夏を惜しむように小学校のプールで泳いでいたのを覚えています。また、夏休みの終わりと言えば、宿題のラストスパート！もう大変な時期だったように思います。今の子供達はどうでしょうか。計画的に進めている子供が多くなったのかなと思います。勿論、保護者の皆様の力強いご支援があってのことだと思います。ところで保護者の皆様の子供の頃の夏休みはいかがだったのでしょうか。どんな夏休みを過ごされていましたか。きっと保護者の皆様の夏休みと今の子供達の夏休みでも大きく違ってきているのではないでしょうか。今の２年生にとっては、このような長期の休みは初めての経験だったに違いありません。昨年は、新型コロナウイルス感染症による４月、５月の臨時休校の為、大幅の夏休み縮減となりました。２年生にとっては、今年の夏休みが本来の夏休み初体験といったところでしょうか。２年生にとっては、どんな夏休みだったのでしょう。

さて、８月 27 日の２学期の始業式で子供達に、２学期は**「一人一人、輝け！」**という目標を示しました。その為に子供達には何事においても**「『本気』で取り組む」**ことを求めました。その際に子供達に紹介した詩です。（左下参照）作者の相田みつをさんは、書道家です。自分自身の願いや思いを力強く、伸び伸びと、独自の書体で書かれています。読む度に「元気、やる気、穏やかな気持ち、安心感等」を貰える言葉が大変多く、何度となく読み返しています。私の好きな詩人の一人です。

本　気

なんでもいいからさ
本気でやってごらん
本気でやれば
たのしいから
本気でやれば
つかれないから
つかれても
つかれが
さわやかだから

みつを

少し、この詩について考えてみましょう。作者は「なんでも」、本気でやれば「たのしい」、本気でやれば「つかれない」と言っています。そこで、皆さん考えてみてください。皆さんは、「本気でやれば、どんな気持ちになりますか？」「本気でやれば、どんなことになると思いますか？」**詩の中の「たのしい」「つかれない」に自分自身の言葉を考えて入れてみてください。**どんな言葉が入るのか、どんな言葉を選ばれるのか楽しみです。勿論、正解・不正解がある訳ではありません。入れられた言葉が全て正解です。また、詩の後半、作者は、本気でやれば「つかれない」、例え、つかれがあっても、本気でやった後のつかれは「さわやか」だと言っています。皆さんはどうお考えになりますか。そうは言ってもやはり「しんどいものはしんどいに決まっている。」とお考えになられますか。**詩のこの部分から、どんなもの、どんなこと、どんな場面、どんな様子を想像されましたか。**私は、一番に「汗」を想像しました。汗って？と思われる方もおられるかもしれませんね。皆さんも、部活で、スポーツで、音楽で、芸術で、勉強で、発表会で、運動会で、･･･、額に、手に、心に、･･･、「汗」した経験がありませんか。**必死に、形振り構わずに、夢中に、一生懸命に、ただひたすらに、自分が何かに取り組んだことがあるのではないでしょうか。**この詩はその時の気持ちだと私は思います。

緊急事態宣言発令の中、感染拡大防止の為、学校においても**感染症対策（朝の検温、マスクの着用【不織布のマスクが強く推奨されています。】、手洗い、手指の消毒、３密回避等）を徹底**していきます。保護者の皆様のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症についてご心配なことがございましたら遠慮なくご相談ください。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と共に歩んでいきます。